（右・左）慢性涙嚢炎・涙道閉塞手術クリニカルパス

様

	手術前日（入院）　／	手術当日　／	手術後1日目　／	手術後2日目　／	手術後3日目　／	手術後4日目　／	手術後5日目～　／
検温	入院時	手術前･後	1回 ＊状況に合わせて適宜				
観察	疼痛、嘔気、流涙、眼脂、鼻汁、出血、食事摂取量等変わったことがありましたら教えてください。						
食事	普通食 （治療食の場合もあります。） ＜手術が15 時前 の場合＞ 21時以降食事はやめてください。	手術が午前の場合：手術前日21時まで食事可。手術当日7時までお茶・水・スポーツ飲料の飲水はできます。 手術が12時(12時含む)～15時の場合：手術前日21時まで食事可。手術当日9時までお茶・水・スポーツ飲料の飲水はできます。 手術が15時以降（15時含む）：手術当日8時まで食事可。手術当日12時までお茶・水・スポーツ飲料の飲水はできます。 手術後3時間したら看護師がお腹の音を確認後、飲水ができます。その1時間後に食事ができます。 （召し上がる方はご自分でご用意ください。） 回復の具合によりますので看護師に確認してください。	普通食				
清潔	手術の準備として入浴、洗髪をしましょう。	入浴はできません。	首から下はシャワーを浴びることができます。 （長時間下を向いてると創部がうっ血するため上向きで髪は洗いましょう。） ＊眼帯中は看護師が介助してシャンプーができます。				
排泄 安静		手術後は歩いてトイレに行けます。 （初回のみ看護師が付き添いますので呼んでください。） トイレ以外はなるべく安静にしていましょう。	自由に動けます。				
診察		診察があります。（主治医が行います。）	毎日診察があります。（主治医が行います。）		3日目以降に鼻にガーゼの入っている患者様は診察時に抜きます。		
処置						4日目以降に抜糸します	
薬物療法　点滴		手術中に点滴が始まります。 （帰室後約8時間点滴があります。） 痛み、吐き気、発熱時は薬を使用します。	ステロイド、抗生剤の点眼を行います。				
薬物療法　内服薬	常用薬を看護師がお尋ねします。	常用薬を内服するかどうかは看護師がおしらせします。	抗生剤、胃薬を内服してください。 （朝、看護師がお渡しします。）				
説明 指導 退院計画	＊病棟内の説明があります。 ＊入院までの経過を看護師がお聞きします。 ＊看護師から手術前後についての説明があります。 ＊手術同意書の確認をします。	手術は　：　頃の予定です。 手術室までは歩いて行きます。帰りはベッドで戻ります。手術室行く前にトイレと着替えを済ませ、両腕を洗い歯磨きをしましょう。 着替える服は看護師がお持ちします。 ネームバンドの確認をさせて頂きます。 発熱・傷の状態を観察します。痛み、吐き気、発熱時は薬を使用します。感染の予防方法を説明します。	薬剤師から内服薬についての説明があります。 （手術後1日目または2日目）		3日目に退院についての説明が看護師からあります。		
期待される結果	入院中のスケジュールが理解できる。	手術の準備ができる。 痛みがある時は我慢せずに、痛みの部位やどんな痛みであるかを医療者へ伝える事ができる。（痛みの程度は0から10「0：痛みなし、10：これ以上考えられないほどの痛み」で伝える。） 術後感染に注意する事ができる（手を清潔、傷を触らない、傷が痛い時や腫れてる時には医療者に伝える、処方薬を飲む。 術後転倒に注意して過ごすことができる。	抜糸まで傷の安静を保ち、発赤や腫れ、強い痛みなどの感染症状を起こさないように注意できる。 創部の清潔について理解できる。 鼻のガーゼが抜けた後の留意点がわかる。 ・強く鼻をかまない。　・鼻ほじりをしない。 長時間下向きで頭を洗ってはいけないことがわかる 退院後の生活の注意事項がわかる。				

2004年10月承認（2021年6月改訂）パス委員会承認　聖隷浜松病院B4病棟

症状経過によってはスケジュール通りにならないこともあります